

当院で開始したタスク・シフト/シェア ～持続的皮下グルコース検査～

◎前澤 文子¹⁾社会医療法人畿内会 岡波総合病院¹⁾

当院は三重県伊賀・名張地区の救急医療を担う急性期病院である。現在、検査部は臨床検査技師 21 名（正職員 19 名、パート 2 名）と事務員 2 名が検査室業務に従事している。当院では 2017 年より院内衛生委員会にて医師・看護師の勤務負担軽減計画を提出し、臨床検査技師によるタスクシフトシェアについても検討してきた。また院内で開催されている活動報告会で業務拡大に関する検査部の取り組みについて報告を行った。これらの結果、臨床側より業務介入の依頼が入り、病院側から臨床検査技師の増員が認められたため、現在、多方面での業務を開始している。今回、法律の一部改正に伴い、8 行為の業務拡大が認められた。三重県は厚生労働省指定のタスクシフトシェア実技講習会をすでに 6 回(2023 年 7 月時点)開催しており、当院は約 9 割のスタッフがこの講習を修了した。このことから、これまで行ってきた自己血糖測定器の説明に加え、法改正により可能となった行為のうち、持続的皮下グルコース検査を臨床検査技師が担うこととなった。当院は 2023 年 1 月、新病院へ移転した。移転をきっかけに臨床検査技師としての活動の場を広げる第 1 歩として開始した当検査部のタスクシフトシェア取り組みと今後の業務拡大について報告する。畿内会 岡波総合病院 中央検査部 0595-21-3135